

バス会社の方に申し入れをさせていたただきたいと思えます。

けやき通り歩道等の改善は

(問) 雨水幹線の上にかけてあるフタがガタついている。

段差がある部分もある。危険なので直して欲しいとの声が寄せられている。

(答) 都市建設部長 フタにパッキンをはさんだり、くさびを打ち込んだりの処理をしています。今後、順次・補修を行ってまいります。

(問) 歩道部分と雨水幹線部分が地盤沈下等によって段差が生じている所もあり、又、歩道部分の傾斜がひどく、とても通行が出来ない部分もあり改善が必要だ。

(答) 都市建設部長 段差が激しいところについては、すりつけ工事などで補修工事を実施してまいります。

歩道の傾斜については抜本的な対策が必要であり計画的に実施してまいります。

(問) 車止めは本当に必要なものを残して見直すべきではないか。

(答) 都市建設部長 今後、安全を考慮して車止めの一部撤去などの対応を検討してまいります。

六月議会に続き

特別支援教育について

小林 昭子

(問) 吉川市は、平成17年度から、特別支援コーディネーターの各校配置、校内委員会の設置、特別支援教育の研修などに取り組んできたとし、「通級教室」の検討も必要との認識を示されたが、その後の市内通級教室の見通しは。

(答) 教育長 通級教室は、早くして、平成21年度に開設できるよう準備していく。北谷小学校の空き教室の利用を予定している。保護者とともに指導を受ける形態である。

(問) 平成16年、県が行った調査で、吉川市の特別支援教育の対象児童数は。

(答) 教育長 平成16年、小学生6.8%、中学生2.6%である。その後の取り組みの中で一人ひとりの障害に応じ指導が進められ改善されている。

(問) 国は5月17日に、支援員配置のための交付金措置を通知した。不登校は、とりわけ、小学校高学年から中学生にかけて飛

躍的に増えている。要因に学習障害も考えられる。通級教室設置待ちではなく、全ての学校に支援員の配置を早急にするべきだと考えるが。

市街化調整区域の生活基盤整備を

(問) この地域に、大変多い要望が、生活道路、水路、通学路、農道などの整備である。長きにわたる要望がほとんどである。

施策を進め、市民の身近な要望に添えていただきたい。

(答) 都市建設部長 地域を問わず市民の利便性、安全性をはかるため事業を進めている。限られた予算の中で順次効率的、計画的に進めていきたい。

武蔵野操車場跡地

土地利用

高崎 正夫

(問) この武蔵野操車場の土地利用については、有効利用を目的に芸

術と文化、森の駅構想がありました。そして最近では、住居系を中心とした土地利用が進められようとしています。どのよう

な形がいいかは、近隣自治体の開発を見据えながら吉川市の顔

づくりが重要だと思いますが。

(答) 市長 土地利用については、区画整理の実施に向けて、県をはじめとする関係機関との協議、調整が整ったことから、平成19年度末の都市計画決定を目指して手続きを進めているところでございます。

このような中、越谷レイクタウンや、つくばエクスプレス沿線開発などの宅地開発が進められておりますことから、当市独自の特徴あるまちづくりが必要不可欠であると考えております。

(問) アパート、マンションの入居率が70〜80%で、500〜600室が空いている状況下で市民や団体協会などから住居系より業務系の土地利用を望む声があります。

新駅設置は市の整備計画に合わせたものでありますが、跡地土地所有者である運輸機構の土地処分を有利にすること、武蔵野線の弱点克服であることから、市は強気の交渉ができるはず。新駅設置については、吉川駅がさびれないような施策

も同時に進めて欲しい。一例としてパチンコ店は吉川駅周辺に限るなどはどうでしょうか。両駅が共存できるような施策をお願いいたします。

(答) 都市建設部長 市の財政が厳しい状況を訴え、跡地先行を考慮、武蔵野線の弱点整備に協力などを考え攻めぎあっているところでもあります。

たしかに共存する顔づくりが課題だと考えます。顔となる施設でございますが、誘致に対する反応もよくなっているのでは、関係に働きかけていきます。



武蔵野操車場跡地